

2026年5月11日

報道各位

ニューホライズンキャピタル株式会社

株式会社ラヴォックスへの投資実行について

ニューホライズンキャピタル株式会社（本社 東京都港区、代表取締役 安東 泰志）が運営するニューホライズン4号投資事業有限責任組合（以下総称して「弊社」）は、4月30日付で株式会社ラヴォックス（本社 東京都板橋区、代表取締役 篠 洋平、以下「ラヴォックス」）への投資を実行いたしましたのでお知らせします。

ラヴォックスは、1986年に基板実装事業を主業として創業しました。2007年には「機器の蘇生を通じて未来の基盤を支える」という理念を掲げ、基板修理サービスへと事業領域を拡張し、2010年には予防保全サービスを開始することで、提供価値の高度化を図っております。直近では、国内6拠点・海外2拠点へと事業基盤を拡大し、修理件数は累計50万件、顧客企業数は2万社を超えるなど、蓄積した実績に基づく高い修理成功率を強みに着実な成長を遂げております。

近年、電子機器の普及に伴う電子廃棄物（e-waste）の増加は、環境負荷の観点から世界的な課題となっております。ラヴォックスは、基板修理・再利用を通じて製品寿命を延ばすことで、こうした課題の解決に資するビジネスモデルを構築しております。また、基板故障が生産設備停止等の重大な機会損失に直結するところ、ラヴォックスのサービスは工場設備等の迅速な復旧に寄与することで、事業継続性および生産効率の向上にも貢献しております。このようにラヴォックスは環境価値と経済価値を同時に創出する事業特性を有しております。

弊社は、ラヴォックスの創出する環境価値と経済価値の更なる向上と、より多くの顧客ニーズに応えるべく、人的資本を中心とした経営基盤の更なる強化を支援し、持続的な成長を後押ししてまいります。本件は、電子廃棄物削減という社会課題への対応と、日本の製造業における事業継続性と生産効率の向上に資する投資であり、弊社が掲げる「意義ある投資」に合致するものであると判断し、投資実行に至りました。

なお、新しい経営体制として、4月30日付で篠洋平氏（前専務取締役）が代表取締役社

長に、また牛嶋渉氏（前代表取締役）が取締役会長にそれぞれ就任しました。また、弊社から新たに非常勤取締役及び非常勤監査役を数名派遣しております。

以上

ニューホライズンキャピタル株式会社について

2002年2月に創業した前身のフェニックス・キャピタル時代から、2006年10月の会社分割を経て、通算24年超の実績（独立系ファンドとしては最大規模の累積運用資産総額2,900億円超）を誇る。現在は、NHCとして6本目、創業から10本目のファンドを運営中。2002年以来、すべてのファンドの創設時にキーマン（主運用責任者）をつとめてきた安東泰志をはじめとするNHCのチームメンバーは、フェニックス・キャピタルにおいて、三菱自動車、ティアック、東急建設、不動建設、世紀東急工業、市田、ツムラ等、また、ニューホライズン1号から4号ファンドにおいても多数の投資を実行し、ハウステック、シバウラ防災製作所、昭和コーポレーション、NITTO、平世美装等、開示可能なエクイティー投資先だけで約70社、全体では120社超の日本随一の投資実績を有する。

この件に関する問い合わせ先（弊社広報担当）：

インターナショナル・ファイナンシャル・コンサルティング株式会社

竹江、高杉 連絡先：03-5532-8921